

G-NETしが

自分らしい生き方 見つけよう

滋賀県男女共同参画情報誌 VOL.2 2003 春号



【特集】 男女の共同参画でまちが変わる！

・G-NETトピックス

平成14年度 県民意識調査の結果

・いま地域では

・センター通信

・みんなで語ろう 男女共同参画のこと



みんなで語ろう 男女共同参画のこと

平成14年度のセンター主催の講座で、参加者から寄せられた声をご紹介します。

小さな一言をひろいたい

女性がいかに課題を見つけ、発言出来る場を確保し、発言していくか。つまり自立的に主体的に生きられるかということが根底にあると思います。その火付け役は、小さな一言にあるのではないかと、その小さな一言をうまくひろって、まちを変えたいと思います。(女性)
—WEリーダー養成講座—

育児休業中の男性です

私は現在、次男(8カ月)の育児のため、休業中です。世間とは170度くらい(!?) 逆転した生活をしていると、家庭でのいろんな女性のしんどさが少し分かるようになりました。それと同じように、私が職場に復帰した時のことを考えると、男性の抱えるリスクについても考えさせられました。

男だから、女だから、子供だから…というこだわりを捨てて、家庭においても社会においても、みんなが助け合える関係づくりが一番大切だと思います。(男性)
—ジェンダー学講座—

父子家庭にも支援を

町に男女共同参画の提言書を出す時、母子・父子家庭を「一人親家庭」として見直す機会を得ました。その時、父子家庭に対する支援が整っていないことを知り、考えさせられました。

私の弟は早くに妻を亡くし、2才の息子と年老いた母親と暮らしていましたが、保育所に入れたり、親類にお金を渡して世話をしてもらったり、大変でした。日常の生活も経済的にも公的な支援を受けられませんでした。

現在、離婚や未婚の母などシングルマザーが多くなっている中、女性問題とともに、父子家庭の問題も同時に考えていかなければ…と思います。(女性)
—WEリーダー養成講座—

父親も子育てに協力して

働きながら子育てをしていると、やらなければならないことしか出来ず、さらにほかにも課題を抱えているため、つい追われてしまっている毎日です。父親が家庭に帰り、協力しながら子育てが出来れば、もっと気持ちにゆとりも持てるのではないかな、と思います。(女性)

—ジェンダー学講座—



「G-NETしが」とは・・・
「Gender・networkしが」の略。ジェンダー問題を見据えて男女共同参画のネットワークを広げていこうという思いをこめたものです。

■特集では、地域の中で男女共同参画に積極的に取り組んでおられる皆さんにご登壇いただきました。意識するしないにかかわらず、とてもいきいきとした様子が印象的です。今年度のセンター事業でも、県内各地に出かけていき、まちづくり、子育て、介護や起業に取り組みでおられる方々とのワークショップを開催しました。どんな分野でも、男女共同参画の視点を取り入れることで活動の幅が広がっていく様子が感じられ、話題提供者のお話に参加者一同大いに力づけられたようでした。

■6ページの意識調査結果にあるように、センターにはいろいろな面での役割が期待されています。情報の収集、発信、ネットワークの場など、存在感のあるセンターをめざして、職員力を合わせてがんばっていきたく思います。「G-NETしが」に関するご意見、ご感想をぜひお寄せ下さい。

EDITOR'S DIARY

編集後記



G-NETしが 滋賀県男女共同参画情報誌 VOL.2 2003 春号

発行日/平成15年3月15日

編集・発行/滋賀県立男女共同参画センター
〒523-0891 滋賀県近江八幡市鷹飼町80-4
TEL0748-37-3751 FAX0748-37-5770
E-mail cm30@mx.biwa.ne.jp
ホームページ <http://www.pref.shiga.jp/c/g-net/>

開所時間 午前9:00～午後9:00
休館日 月曜日/祝休日の翌日/年末年始
企画・編集/(株)高速オフセット

JR近江八幡駅下車、南口から500m(徒歩約10分)。または近江八幡駅南口から近江バスで男女共同参画センター下車、JRバスで鷹飼南下車。

